

「頑張る」とは ア・リ・レ・ニ

皆さん、「頑張る」という言葉を知っていますか？
私は日本語初級者の頃から、ずっとこの言葉を
聞いていました。アニメや日本の番組では、キッ
ラクターはいつも試験勉強やスポーツ試合などで
「頑張れ」と言って仲間を励ましていました。あ
の頃、「頑張る」というのはただ「努力してくた
さい」の同義語だと思っていました。しかし、モ
っと深く日本語を勉強してきたら、この言葉はそ
んなに具体的ではないと気づきました。例えば、
1995年に起った阪神・淡路大震災の後、日本
全国に響き渡り「頑張ろうKOBÉ」という合言
葉が生まれ出されました。このスローガンは、当時
の神戸の野球チーム「オリックス・ブルーウエー
ブ」の袖に縫い付けられて、ひどい損害を受けた
地震被害者を勇気付けるために戦ったオリックス
はリーグ優勝もしました。しかし、「頑張ろうK
OBÉ」の「頑張る」とは、野球だけで努力する
意味ではありません。むしろ、この合言葉は地震
被害者を辛い中で生き残って積極的に生活を再建
するよう励ますために作られました。一つのこ

とを頑張りだけではなくて、生活のあらゆることを頑張りという意味でした。この素敵なお言葉について学んだら、「頑張り」という意味を一層深く理解できた気がします。言葉だけではなくて、人を励ます日本の特徴的な精神です。あと、「頑張り」というのは友達や家族によく言うことなので、愛に根ざした精神だと思います。けれど、この精神が歪んでしまうこともあります。アメリカと日本にも、自分の健康や幸福を犠牲にしてまで働く人が多いです。しかし、「頑張り」というのは、勝つことや、仕事ばかりすることなどという意味ではないと思います。私にとって「頑張り」とは、阪神・淡路大震災の強い被害者のように、人生が辛くて、諦めたくても、自分のハードルを乗り越えるのです。私は日常生活に大きな影響を及ぼす不安障害を持っていて、いつも頭の中で「頑張り」と唱えています。こうすると、不安でたまらない辛い時を乗り越えて、諦めず夢の方へ進めるようになります。なので、「頑張り」という精神は、私にとって本当に大切で

です。私は日本語を勉強し始めて以来、いつも日
日の我慢強くて前向きな文化に勇気づけられていま
す。外国語を学ぶことの本当の価値は、新しい言
葉や表現を身につけたから、新しい文化、道徳、
精神などについて学ぶことができります。そして
、そこから自分の生きている世界をより深く理解
できて、より良い人になります。私は「頑張り」
という言葉からたくさん学んできましたが、これは人
生を変えた多くの日本語の言葉から一つだけであ
す。あらゆる外国語にも、その言語ならではの人の
視野を広げる言葉が多いと思います。私はこれか
ら日本語を勉強することから知った価値観を持
ち続けて、自分の夢を叶えるために頑張りたいで
す。皆さんもぜひ、頑張り、てください。